

展示室1 小特集：イギリス・水彩画への誘い

水彩画は四季の変化に富み自然に恵まれたイギリスで発達しました。水彩画自体は昔から多くの画家たちによって描かれていましたが、主に油彩画のための習作やデッサンのために使用されていたに過ぎませんでした。しかし、18世紀後半から19世紀にかけて、イギリスではカズンズ父子、サンドビー、ガーティン、ターナーなどの優れた水彩画家を多数輩出し、水彩画が美術の一つのジャンルとして確立されます。今回は、繊細かつ緻密な彩色が施されたイギリスの水彩画をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ポール・サンドビー	ウォリック城シーザー塔	1778-82	水彩、インク・紙
トマス・ローランドソン	ヘント付近、ローエン駅に着く馬車	1790代	水彩・紙
アレクサンダー・カズンズ	川岸に神殿のある風景		水彩・紙
ジョン・ロバート・カズンズ	サヴォワ地方、サランシュ附近のアルプス渓谷		水彩・紙
ジョン・ヴァーレー	ポントシスリット・アクアダクト	1826	水彩・紙
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798頃	水彩・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	サン・ゴタル峠の下り道	1848	水彩・紙
トマス・マイルズ・リチャードソン・ジュニア	コンウェイ城の日没	1855	水彩・紙
ピーター・デ・ウィント	ウィットビー		水彩・紙
ジョン・セル・コットマン	ルーアン、ラ・ピュセル広場のブルトルルド館	1823	水彩・紙
ディヴィッド・コックス	川辺の騎手と人物	1850	水彩、鉛筆、チョーク・紙
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	テダム谷	1802	油彩・紙、キャンバス
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ		油彩・キャンバス

展示室2 西洋に学んだ画家たち

明治時代、多くの画家が西洋絵画を学びに、パリをはじめヨーロッパの各都市に留学しました。そのなかのひとり、五姓田義松は、1880（明治13）年にフランスに旅立ち、翌年のサロンでは、日本人初となる入選の快挙をはたしました。

留学した画家のなかには、フランス美術の巨匠から直接学んだ日本人もいます。梅原龍三郎はルノワールから、中山巍はヴラマンクから指導を受けました。

ここでは、当館コレクションのなかから、西洋に学んだ日本人画家を紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
黒田 清輝	東久世伯爵肖像エスキース	1894（明治27）	油彩・キャンバス
五姓田 義松	園田御令嬢肖像	1902（明治35）	コンテ・紙
五姓田 義松	婦人像	1871（明治4）頃	油彩・キャンバス
和田 英作	上総風景	1897（明治30）	油彩・キャンバス
鹿子木 孟郎	水車小屋		水彩・紙
満谷 国四郎	冬	1922（大正11）	油彩・キャンバス
安井 曾太郎	初秋の北京	1944（昭和19）	油彩・キャンバス

作者名	作品名	制作年	技法・材質
梅原 龍三郎	静物		油彩・キャンバス
山本 芳翠	園田銚像	1885 (明治 18)	油彩・キャンバス
藤島 武二	「耕到天」習作	1936 (昭和 11)	油彩・キャンバス
斎藤 豊作	風景	1912 (明治 45)	油彩・キャンバス
里見 勝蔵	軍人	1927 (昭和 2)	油彩・キャンバス
中山 巍	赤ジレ座婦	1927 (昭和 2)	油彩・キャンバス
中山 巍	花鳥 B	1934 (昭和 9)	油彩・キャンバス
内田 巖	首飾りの女	1937 (昭和 12) 頃	油彩・キャンバス 武田光司コレクション寄贈
土橋 醇	イル・ド・フランス	1956 (昭和 31)	油彩・キャンバス

展示室 3 今日の立体アート

1950年代以降、伝統的な彫刻とは違ったありようを示しながら、三次元の空間に新たな表現を展開しようとする作家たちが現われました。

イギリス彫刻の騎手として活躍したバーバラ・ヘップワースは、幾何学的かつ有機的な抽象作品を石や金属を用いて制作しました。イギリス美術界を牽引するトニー・クラッグは、プラスチックや廃材などを複合させ、具象的なイメージを生み出しています。様々な金属線を駆使して可動する作品を制作する西野康造は、重力を意識した緻密な作品を手がけています。

自然と社会と人との関わりを主題とし、素材への深い探究心に裏打ちされた彼らの作品は、私たちに新鮮な視覚体験と思索の時をもたらしてくれます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
バーバラ・ヘップワース	オルフェウス (マケット 2)	1956	真鍮、糸
トニー・クラッグ	山と湖	1984	木
西野康造	翼の森	2019 (令和元)	ステンレス、鉄
西野康造	ホルン	1986 (昭和 61)	ステンレス
クリスト	日本とアメリカ合衆国による共同計画アンブレラ (青)	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、地図、エナメル塗装・紙
クリスト	日本とアメリカ合衆国による共同計画アンブレラ (黄)	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、地図、エナメル塗装・紙

展示室 4-① 美しい本の世界

イギリスでは 18 世紀末、トマス・ビューイック (1753-1828) によって木口木版が開拓されました。木を輪切りに切り出した版木は、密度が高く細密な描写が可能であり、耐久性に優れた凸版になるため活字と同時に刷ることができ、木口木版による挿絵は盛んに書物を飾るようになります。

19 世紀末から 20 世紀前半には、理想の書物づくりを目指し、ウィリアム・モリス (1834-1896) が設立したケルムスコット・プレスをはじめとする私家版印刷工房から、多くの詩集や物語集が出版されました。大量生産文化の到来を前に、芸術家たちの丁寧な手仕事によって、貴重な美しい書物が生み出されたのです。

装丁、挿絵、活字、レイアウトなど、書物に広がる芸術世界をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
トマス・ビューイック (画・刻)	『四足獣概説』	1790	木口木版／本
トマス・ビューイック (画・刻)	『英国鳥類誌 第二巻 水鳥編』	1804	木口木版／本
トマス・ビューイック (画・刻)	『イソップ寓話集』	1818	木口木版／本
ディエル兄弟 (刻)	『イギリス風景画集』	1863	木口木版／本
ディエル兄弟 (刻)	W. ワーズワース『詩集』	1859	木口木版／本

作者名	作品名	制作年	技法・材質
トマス・ガーティン 他 (画)	リンカーン州の名所風景	1797-1801	ライン・エングレーヴィング/本
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー (画)	S. ロジャーズ『詩集』第1巻		ライン・エングレーヴィング/本
ジョン・レイトン (画・刻)	J. キーブル『教会暦年』		エッチング/本
ディエル兄弟 他 (刻)	A. テニスン『詩集』	1859	木口木版/本
ディエル兄弟 (刻)	R. ブキャナン『北海岸と詩』	1868	木口木版/本
ディエル兄弟 (刻)	『救世主イエス・キリストの寓話』	1864	木口木版/本
ディエル兄弟 (刻)	J. インジェロー他『家庭の思想と情景』	1865	木口木版/本
ディエル兄弟 (刻)	R. A. ウィルモット編『英国宗教詩集』	1863	木口木版/本
リュシアン・ピサロ (画)	C. ベロー『眠れる美女と赤ずきん』	1899	木口木版/本
アーサー・ジョセフ・ギャスキン (画)	S. ベアリング・グールド編『童話集』	1895	木口木版/本
ウィリアム・ブラウン・マクドゥーガル (画)	J. キーツ『イザベラ (パジルの壺)』	1898	木口木版/本
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ (画)	W. モリス『世界の果ての泉』	1896	木口木版/本
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ (画)	F. エリス編纂『ジェフリー・チャーサー作品集』	1896	木口木版/本
ジョゼフ・クロホール (画・刻)	『古風な版画集』	1889	木口木版、手彩色/本
ジョゼフ・クロホール (画・刻)	『クロホールの呼売本の花冠』	1883	木口木版、手彩色/本
ウィリアム・ニコルソン (画)	『ロンドン・タイプス』	1898	リトグラフ/本
クリア・ベロニカ・ホープ・レイトン (画・刻)	『四つの生け垣』	1935	木口木版/本
オーブリー・ピアズリー	『ピエロ・ライブラリー』表紙見返しデザイン	1896	ラインブロック
オーブリー・ピアズリー	『イエロー・ブック』第5巻表紙デザイン	1895	ラインブロック
オーブリー・ピアズリー	おまえの口に口づけしたよ、ヨカナーン (オスカー・ワイルド『サロメ』挿絵)	1893	ラインブロック
エリック・ギル (画・刻)	『四福音書』	1931	木口木版/本
エリック・ギル	磔刑	1931	木口木版
エリック・ギル	降架	1931	木口木版
ロバート・ギビングス (画・刻)	L. ボウイス『生命の栄光』	1934	木口木版/本
【参考出品】ロバート・ギビングス	L. ボウイス『生命の栄光』版木		
ロバート・ギビングス (画・刻)	『獣と聖者』ブルーフ集 より	1934頃	木口木版

展示室4-② 素材とかたち

成形した粘土を焼いて作る陶磁器は、自在にかたちを作ることができ、釉薬によって色や表情を加えたり、絵付けによって細かい絵柄を入れることもできます。ガラスは高温では液状になることから、成形しながら色や模様といった変化を生むことができ、何よりも透明性という魅力的な特徴を持つ素材です。金属は薄く曲げることができる、輝きを持つという魅力があります。今回は、クリストファー・ドレッサーの作品を中心に、こうした素材とかたちの関係をご覧ください。

佐藤潤四郎の作品では、鍛鉄吹込作品を特集展示します。また合わせて、日本と関係の深いバーナード・リーチと、一緒に活動した浜田庄司のやきもの作品をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレッサー	把手付き燭台		真鍮、木製把手
クリストファー・ドレッサー	真鍮製燭台 (一対)		真鍮
クリストファー・ドレッサー	ケトルとスタンド		銅、真鍮、鍛鉄
クリストファー・ドレッサー	刻文舟形容器	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	青緑釉水差	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	青釉水差	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	黄緑釉水差 (一対)	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	紅地線文把手付花瓶 (一対)	1892-95頃	陶器

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレッサー	緑釉球形花生	1892-95 頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	うに形容器	1879-82 頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	紅地彩釉壺	1879-82 頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	紅地緑釉壺	1879-82 頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	水差し「ラクダの背」	1879-82 頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	褐釉瓢箪型花瓶	1879-82 頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	緑釉刻文花瓶	1879-82 頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵蝶花模様瓢箪形壺	1892-95 頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様大皿	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様隅切角皿 (4 枚)	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	花瓶 (赤色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	瓶 (淡緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	瓶 (茶色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	瓶 (緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	プロペラ瓶 (緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	ローマン瓶 (緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	花瓶 (緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	花瓶 (緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック (楕円型)	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック (ポイントアーチ型)	1879	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック (青海波)	1879-1882 頃	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きダブル・バスケット	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ、黒檀把手 (ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ (ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
バーナード・リーチ	鉄絵碗		陶器
バーナード・リーチ	白磁魚絵皿	1961	磁器
浜田 庄司	鉛釉花打茶碗		陶器
浜田 庄司	白釉鉄絵茶碗		ストーンウェア
浜田 庄司	黒釉錆流描角皿		陶器 麻山富義氏寄贈
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器 (グリーン)	1986 (昭和 61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器 (顔)	1986 (昭和 61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器		ガラス、鉄/鍛鉄吹込・雲母封入
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて	1986 (昭和 61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
笠置 季男	躍進	1958 (昭和 33)	セメント
●2階展示ロビー			
アリスティード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ 大高善二郎氏寄贈
北村 四海	井冰鹿の娘	1917 (大正 6)	大理石
佐藤 忠良	群馬の人	1952 (昭和 27)	ブロンズ
堀内 正和	顔	1955 (昭和 30)	鉄、セメント
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ